

【発行所】

佐賀県三養基郡みやき町
大字原古賀7324

独立行政法人
国立病院機構 東佐賀病院

【編集発行】 広報委員会

《基本理念》

信頼関係を大切にし、
地域に根ざした
良質な医療を提供します。



防犯体制の強化について

～患者さん、そして病院職員の安全確保のために～



庶務班長 黒瀬 隆

神奈川県相模原市の障害者施設において、多くの利用者の命が奪われる凄惨な事件が発生しました。この事件を契機に、機構本部からは防犯体制の強化についての通知が発出されました。

当院においては、患者さんの安全を確保するため、防犯上の観点から問題が無いか、まずは建物の点検を実施し、これにより判明した不具合については修繕により対応しました。

次に、院内において緊急事態が発生した場合の連絡体制を整備するため、「ホワイトコール」の体制作りを行いました。暴力等によるアクシデントが発生した際に、職員は院内PHSから全館放送を行い、この放送を聞いた職員が現場に参集し、対応するものです。

さらに、院長自らが、管轄である鳥栖警察署長に依

頼し、パトカーによる敷地内のパトロールを行っていただくことが決定しました。警察官によるパトロールの実施は犯罪の抑止力に大きな効果があることは明らかであることから、鳥栖警察署の多大なるご厚意には深く感謝しているところです。

併せて、当院では、防犯訓練も実施しました。訓練の内容は鳥栖警察署にご指導いただき、不審者の侵入を確認した後に通報する訓練、患者さんを避難させる訓練、職員が現場に駆けつけ不審者を患者から遠ざける訓練、さすまたの使用方法、護身術の習得といった内容です。

訓練自体は病棟職員の練習の成果から、充実した訓練になり、この訓練の様子はニュース等で報道されています。

目次

*題字「ひがしさが」 平野 長照 名誉院長 書

■ 防犯対策の強化について ～患者さん、そして病院職員の安全確保のために～	1
■ ふれあい看護体験	2
■ 重症心身障害病棟「秋祭り」	3
■ 手作り季節メニューの提供を始めて	4
■ 第42回日本重症心身障害学会学術集会に参加して	5
■ 日本医療マネジメント学会 第15回九州・山口連合大会	5

■ 職場紹介	6
■ 人事異動	6
■ 地域医療連携室のご案内	7
■ 医事統計	8
■ 外来診療担当医表	9
■ 病院アクセスマップ	10
■ 地域医療研修センターのご案内	10

しかし、職員は凶器を持った不審者に対して、今回の訓練のように立ち向かって行くことは現実的に難しいのではないかと思います。

病院の防犯体制の強化のために最も重要な事は、警察への迅速な通報であると思います。被害防止に向けて警察としっかり連携し、防犯体制の強化に取り組んでいきたいと考えています。



ふれあい看護体験

看護部サービス向上委員会
副看護師長 松野 祐美

「ふれあい看護体験」は市民のために保健医療福祉施設がドアを開き、見学や簡単な看護体験、関係者との交流などを行うイベントです。市民が医療・看護・介護関係者と一緒にこれからの保健医療福祉について考えたり、実施施設にとっては地域とのコミュニケーションや情報提供の貴重なきっかけとなっています。当院では8月3日（水曜日）に佐賀県内の高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施し、15名の参加がありました。参加した高校生はナース服を着て、実際に患者さんが入院している病棟で看護体験を行いました。病棟では実際の病院の設備・構造の説明から、車椅子体験・ベッドメイキング・患者さんとのコミュニケーション・バイタルサイン測定・清拭や食事介助場面の見学などを行い、普段なかなか体験することのできない貴重な看護体験ができたようです。看護体験を通しての意見交換会では「看護体験を通して改めて看護師の仕事は良いと思った。これからも頑張りたい。」「イメージと違い明るく楽しく仕事をされていた。」「普段見られないところや体験等ができ、看護師の仕事は素敵だと思った。」「自分の意見が言えなかったり、言えたりする患者さんが居て、それを読み取るうとすることの大切さを知った。」等の発言があり、看護師という職業に希望が沸くような充実した看護体験になったのではないかと思います。また、看護体験を通してのアンケートでは「ふれあい看護体験への参加動機はなんですか」の問いに「看護の仕事に興味がある」と答えた学生が13名であり、ほとんどの学生がふれあい看護体験に参加して「非常に良かった」「よかった」と回答しており、「将来、看護の道に進みたいと思いますか」に対しては14名の学生が看護師になりたいと回答していました。今回のふれあい看護体験を通して、看護の素晴らしさや大変だけれどもやりがいのある仕事である事等を、未来の看護師に伝える事ができたのではないかと思います。今後も看護職を目指す人が増えるよう、看護の魅力をより多くの人に伝えていきたいと思っています。

ある」と答えた学生が13名であり、ほとんどの学生がふれあい看護体験に参加して「非常に良かった」「よかった」と回答しており、「将来、看護の道に進みたいと思いますか」に対しては14名の学生が看護師になりたいと回答していました。今回のふれあい看護体験を通して、看護の素晴らしさや大変だけれどもやりがいのある仕事である事等を、未来の看護師に伝える事ができたのではないかと思います。今後も看護職を目指す人が増えるよう、看護の魅力をより多くの人に伝えていきたいと思っています。



重症心身障害病棟「秋祭り」

秋祭り担当
保育士 江頭 紀子

平成28年9月5日(月)～9日(金)の日程で、重症心身障害病棟秋祭りを開催しました。利用者の皆さんが、療養生活の中で楽しいひとときを過ごすとともに、家族や地域社会との交流の機会を持つことを目標とし、療育訓練棟の会場で様々な催しを演出しました。

会場はかき氷、わたがし、金魚すくいなどの屋台やおばけやしきが並び、スヌーズレン室には機材を工夫して、海や花火を感じることが出来る部屋が完成しました。期間を1週間設定しましたので、体調や都合の良い日を選んで利用者全員が参加することができました。

秋祭りが始まると、たくさんの提灯で飾られた会場には、浴衣や甚平を着ておめかしされている利用者の方や御家族、ボランティアさん、職員が集まりました。屋台ではボランティアさんが、色とりどりのかき氷やわたがしを優しく渡して下さいました。利用者はすすんで手を伸ばされ、美味しそうに召し上がっていました。

また、毎日様々なイベントを観賞する事も楽しみでした。ユニークなお面のひょっとこ踊り、迫力ある大小様々な太鼓演奏、優しい音色の三味線に琉球太鼓の舞など…音だけでなく振動となって響いてくる感覚に、全員が目も耳も釘付けになりました。

毎年恒例の盆踊りでは、「炭坑節」を踊りました。手を取り合って踊っている皆さんの表情はとてもにこやかでした。

利用者、御家族、ボランティアさん、そして職員が共に声を合わせ、手を握り、目や耳、身体で感じてお祭りの楽しさを共有できたことは、秋祭りの目標に近付けたのではないかと思います。

最後になりますが、保護者の会会長はじめ御家族の皆様、中原特別支援学校の先生方、そして、西九州大学、緑生館、国際医療福祉大学、上峰町社会福祉協議会のボランティアの方々、御協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。



●●● 手作り季節メニューの提供を始めて ●●●

栄養管理室 垣添 真世

栄養管理室では以前より包括ケア病棟を対象として、折り詰め弁当や手作りデザートを提供していました。今年度はこの取り組みを全病棟へと広げ、患者さんに「食事を楽しみの一つ」として感じていただけるように、定期的に手作りの季節メニューを提供しています。

デザートを中心に提供していますが、季節に合わせた食材選び、重症心身障害児（者）病棟の患者さんでも食べられる形態の工夫、特別感を出す為の盛り付け、そして1番のこだわりは味！！ということ念頭に、調理師と試作を重ねながらメニューを考案しています。

今までに提供したメニューは、「ヨーグルトムース～黄桃添え～」「夏野菜コンソメジュレ」「夏のさわやか南国ゼリー」「紫芋のチーズ

ムース」です。どれも患者さんからは好評で、「初めて食べた」「おいしい」「この日を楽しみにしていました」とご意見をいただきました。また、重症心身障害児（者）病棟のスタッフからは「いつもより食べるペースが速かった」「よく開口していた」と患者さんの反応も良かった様子でした。

普段食事摂取が少ない患者さんにも、視覚、嗅覚、味覚を刺激して摂取量を少しでも増やしていただけるように、またこの日を楽しみにしている患者さんの為にも、レストランやスイーツ店に負けないメニュー作りを目指して！！

「東佐賀病院の食事はおいしい」と言っていただけ今後も取り組んでいきたいと思っています。



第42回日本重症心身障害学会学術集会に参加して

13病棟 NST専門療法士 看護師 松元久美子

日頃よりNST専従、専任チームは、医師は治療、管理栄養士は食事についての専門性を活かし、看護師は看護ケア、薬剤師は薬の管理、言語聴覚士はリハビリというように各職種の「強み」を実質的に機能する活動の展開が求められています。患者様の情報を一番持っている看護師がキーパーソンであり、受け持ち看護師により良い情報をフィードバックしながらNST活動を行っています。

去る平成28年9月16日、17日に北海道札幌市で日本重症心身障害学会学術集会が開催され、13病棟から私と大塚大志郎さんが参加しました。今学会は在宅支援のあり方、支援方法と支援内容を中心とした、シンポジウム、特別講演で充実した内容でした。特にセミナー

では「重症心身障害児（者）の特徴に配慮した経腸栄養剤の使い分け」北海道療育園 徳光診療部長さんからの講話でした。NST活動の中で気をつけるポイントや取り扱い内容の再確認ができました。またファッションショーではショーを手がける大学側と施設側との協力体制で、ここに登場した重症児（者）の3名は、障害を臆することなく、個性あふれ、美しく着飾り、ショーの成功をともに喜び合う姿に感動を覚えました。重症心身障害児（者）を取り巻く環境には、まだまだ多くの課題がありますが、学会とポスター発表に参加でき、重心看護の質を高めることを目的とした取り組みを共有でき、大変有意義なものでした。



日本医療マネジメント学会 第15回九州・山口連合大会



地域医療連携室
高口 輝一

平成28年9月16日～17日に佐賀市で開催された日本医療マネジメント学会第15回九州・山口連合大会に参加しました。「MSWが病院経営に果たす役割～連携・広報活動の取り組みについて～」というテーマで9月16日に口演発表を行いました。内容は地域包括ケア病棟の開棟にともないMSWが行った広報活動や地域包括ケアシステムの構築に向けて医療機関・地域包括支援センター・介護事業所等と取り組んだ連携活動について発表しました。

今回の学会で地域連携について各病院が取り組んでいる発表を聞いて特徴的だったことは、在宅復帰率が定められ在宅医療が推進される中、訪問看護ステーションを開設するなど、訪問看護・往診を積極的に行い、退院後の医療・ケアが途切れることなくシームレスに行えるようにしている事でした。また入院が必要になった場合は、速やかに受け入れを行うなど在宅医療と入院の連携強化を図っていました。

学会に参加させて頂いたことで、様々な活動や新たな情報を得ることができ、また交流を図ることもできました。今後の地域医療連携室の活動に活かしていきたいと思います。



放射線科の紹介

放射線科は放射科医師1名、診療放射線技師4名で日々の業務を行っております。
本年3月、最新の128スライスMSCT（フィリップス社製）への更新に伴い、従来のCT装置（4スライス）ではできなかった心臓CTや歯科領域等の特殊検査にも対応できるようになりました。また、画像処理解析装置（ワークステーション）も導入され3D・MPR等の各種画像処理解析にも対応できる環境が整い、全身領域において高画質の画像を提供できるようになりました。

放射線科の業務内容は一般撮影・病棟撮影・骨密度測定・マンモグラフィ検査・CT検査・MRI検査・透視検査・OP室での外科用イメージなど多種にわたります。各装置の機能を駆使し様々な画像検査に対応しており、診療の一助になるべく各疾患に最適な画像を提供できるよう最新の情報・技術の習得に努めております。

これからも病院スタッフと密接かつ迅速な連携をはかり、安心・安全・良質な検査を提供できるよう頑張っていますので宜しくお願い致します。



放射線科



128スライスMSCT



ワークステーション

紹介元の先生方へ

当院放射線科紹介では全身領域におけるCT検査（内臓脂肪測定）を承ります。原則として当日検査後30分程度で患者様への説明・検査結果（画像データおよび所見）のお渡しが可能です。画像データはCD-ROMでもフィルムでもお渡しすることが出来ます。検査等でご質問がありましたら、ご遠慮なく放射線科（内線249）までご相談ください。

人事異動

personnel changes

◆新採用者

日付	氏名	職名	職場名
H28. 9.21	江頭直美	調理助手（非常勤）	栄養管理室
H28.10.11	中村有里	調理助手（非常勤）	栄養管理室
H28.11. 1	大崎光彦	内科医長	医局

◆退職者

日付	氏名	職名	職場名
H28. 9.11	吉田みどり	事務助手（非常勤）	企画課
H28. 9.26	奥村雅博	調理助手（非常勤）	栄養管理室
H28.11.16	行時悟	職員班長	管理課

地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1. ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書（当院様式以外のものでも結構です）」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐに送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2. 緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3. 患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4. ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5. 入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6. その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたら、いつでもご遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院地域医療連携室

ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

代 表：TEL 0942 (94) 2048 内線 309

直 通：TEL/FAX 0942 (94) 3748 (FAXは24時間受付)

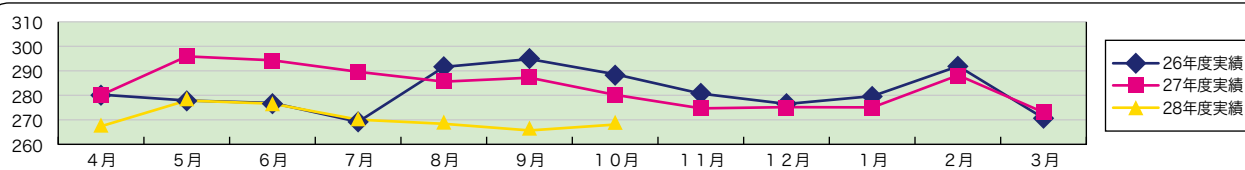
E-mail：renkei-56@hosp.go.jp

<平日/午前8時30分～午後5時15分>

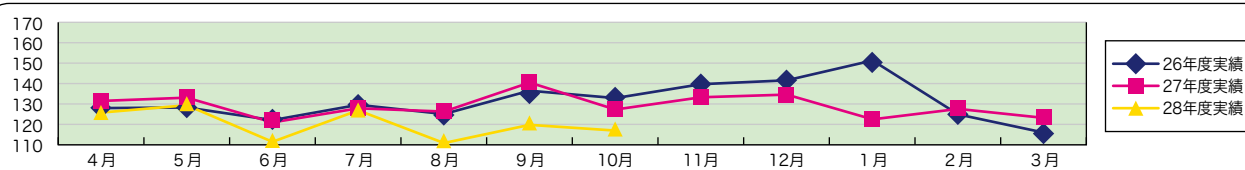
※平日午後5時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

医事統計

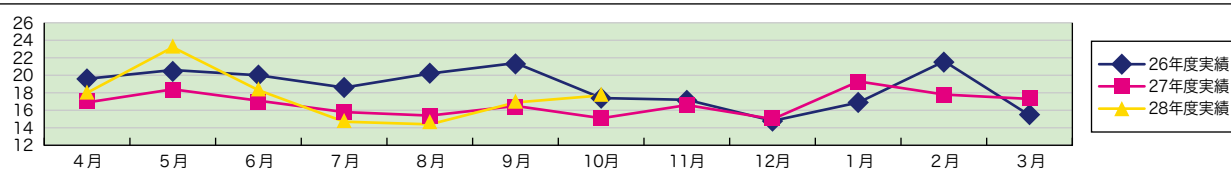
1日平均入院患者数



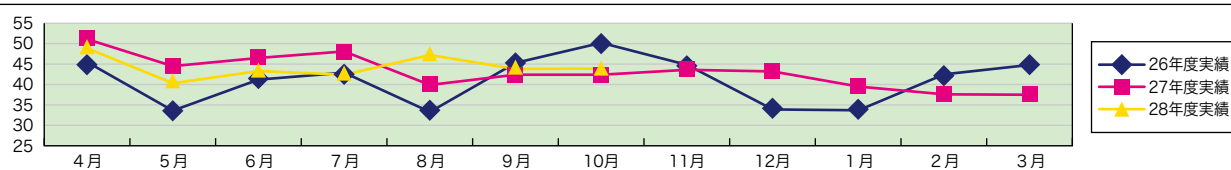
1日平均外来患者数



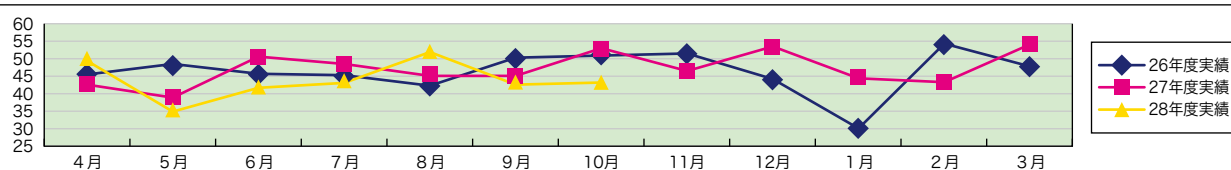
平均在院日数【一般病床（重心・亜急性を除く）】



紹介率



逆紹介率



外来診療担当医表



(受付時間) 月曜日～金曜日(祝日を除く)

新患・再来／8:30～11:30

※急患はこの限りではありません

〔小児科は午後も診療を行います。〕
14:00～16:30

FAX 0942-94-3137

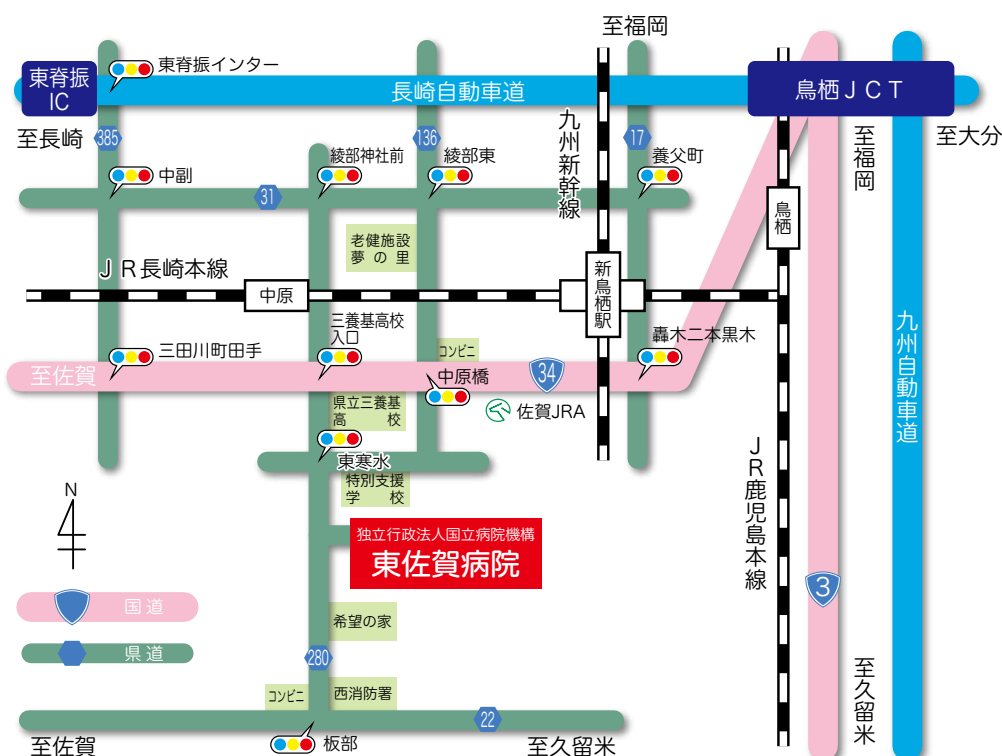
ホームページ <http://www.higashisaga-hosp.jp>

《平成28年11月1日》

診 療 科 目			月	火	水	木	金	
内 科	新 患		貞松 篤 (循環器) 小林 弘美 (呼吸器)	千布 節 (呼吸器) 高木 佑介 (糖尿病)	大井 順二 (消化器) 小林 弘美 (呼吸器)	犬山 正仁 (呼吸器) 吉村 昌也 (消化器)	大崎 光彦 (内科)	
	新 患 (隔週)						犬山 正仁 (呼吸器) 千布 節 (呼吸器)	
	再 来	呼 吸 器	千布 節	小林 弘美	小林 弘美 犬山 正仁		千布 節	
		消 化 器	吉村 昌也	大井 順二			吉村 昌也	
		循 環 器		貞松 篤	貞松 篤	貞松 篤		
		内 科		大崎 光彦		大崎 光彦		
		糖尿病・内分泌	高木 佑介		井上 瑛	高木 佑介	重本 里美 (9:30～) 高木 佑介	
	専 門	甲 状 腺						
肝臓専門外来		村山賢一郎						
外 科	消 化 器		北島 吉彦 志田 雅明	北島 吉彦	志田 雅明	北島 吉彦	志田 雅明	
	呼 吸 器			辻 博治	辻 博治	辻 博治	辻 博治	
	乳腺外科 (予約制)						北島 吉彦 志田 雅明 (午後1:30～予約制)	
小 児 科	一 般		午前	山本 修一	荒牧 修一	上野 知香	山本/上野	横田 吾郎
			午後	横田/荒牧	荒牧 修一	予 防 接 種 (予約制)	沖 眞一郎	今吉美代子
	専 門	アレルギー	午後	山本 修一 (予約制)				
整 形 外 科	一 般		本岡 勉 江頭 秀一 (新患担当) 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 江頭 秀一	本岡 勉 江頭 秀一 上通由紀子 (新患担当)	江頭 秀一 上通由紀子	
	専 門	骨粗しょう症						
		関 節						
		形 成	当面の間休診いたします。					
放 射 線 科			牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	
消 化 器 内 視 鏡			大井 順二	吉村 昌也	吉村 昌也	大井/志田	大井 順二	
呼 吸 器 内 視 鏡					辻 博治			
心 エ コ ー								
眼 科					午後	午後		

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 金曜日の乳腺外来は予約制ですので、事前に外科外来にご予約下さい。
- 小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
小児アレルギー外来、予防接種は予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- 眼科外来は、当院にて治療中の患者様に限ります。

● 病院アクセスマップ ●



1. JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。
南へ徒歩15分(1.4km)
●鳥栖駅～中原駅間 約9分
●佐賀駅～中原駅間 約17分
2. 西鉄バス(西鉄久留米)～(鳥栖駅)間
(あやべ經由41番)の「東佐賀病院前」にて下車。
●西鉄久留米より 約30分
●JR久留米より 約20分
●JR鳥栖より 約30分
3. 九州自動車道及び長崎自動車道
●鳥栖インターより(国道34号線經由) 約30分
●東脊振インターより(県道31号線經由) 約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。

病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係

☎0942 (94) 2048
(内線 333 又は 219)

編集後記

第43号では、テレビでも放映された、病院内防犯訓練を巻頭に、ふれあい看護体験、秋祭り、学会発表などが主な内容になります。栄養管理室では、取り組みを全病棟へと広げた手作り季節メニューの提供について記事にしました。

今後も、様々な取り組みを通してさらなる地域医療への貢献を期待したいと思います。

(編集委員長 辻 博治)